活動レポート　事業委員会

文責：事業委員　**吉田　透**

事業委員会主催　オホーツク技術士委員会共催

技術研修会（宿泊コース）報告

1. はじめに

平成 29 年度事業委員会主催の技術研修会（宿泊コース）を以下の要領で開催しました。

技術研修会の主な見学内容について報告します。

2. 見学内容

(1) 実施概要

日　　時：10 月 13 日（金）8：00 ～ 14 日（土）17：20

参加者数：25 名（札幌：15 名、オホーツク：10 名）

見 学 先：北見市広郷浄水場、ハッカ記念館等

(2) 広郷浄水場

浄水場では、北見市公営企業管理者の小林様よりご挨拶いただいた後見学となりました。広郷浄水場は、常呂川を水源としているため降雨時には濁度や色度の変動がが大きく水質が不安定でした。そのため、平成 19 年には数度にわたり浄水処理能力を超えた高濁度が発生し、取水停止と大規模な断水を経験しました。そのため、高濁度が発生した場合でも、浄水処理を継続するための原水を確保する滞水池の新設と配水池の増設を緊急整備事業として平成 20 年 5 月に着手しました。施設は、平成 21 年 6 月供用と僅か 1 年で整備を行い、現在では水道施設の安全が図られています。

写真-1　小林公営企業管理者

写真-2　中央監視室　監視パネル

写真-3　導水ポンプ室

今回の見学では、広郷浄水場及び北見市上水道の概要と緊急整備事業を 1 年で行った当時の苦労や工夫等、貴重なお話を荒木技術士（浄水場場長）、山川技術士（北見市役所）、猪口技術士（オホーツク技術士委員会幹事長）に伺うことが出来ました。

写真-4　説明してくださった荒木技術士

写真-5　説明してくださった山川技術士

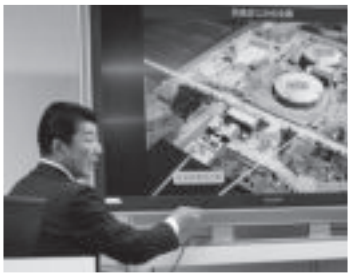

写真-6　説明してくださった猪口技術士

(3) ハッカ記念館

研修 1 日目の夕方に、北見ハッカ記念館を見学しました。北見のハッカは、昭和 10 年代、結晶が採れるのが和製ハッカだけだったため世界のハッカ市場の七割を占めていたそうです。ハッカ工場は昭和 58 年に閉鎖されましたが、ホクレ

写真-7　ハッカの結晶

ン農業連合会より寄贈された事務所（現ハッカ記念館）や工場資料を基に、昭和 61 年 4 月よりハッカの歴史や蒸溜を見学できる記念館として利用されています。

写真-8　ハッカ記念会

(4) 道の駅・山の水族館

研修 2 日目は、朝一で「山の水族館」と「道の駅おんねゆ温泉」を見学しました。山の水族館は、世界初の川が凍る水槽（厳冬期）や日本初の滝つぼを見上げる水槽、魔法の温泉水で大きく育った淡水熱帯魚等、50 種類、約 3,000 尾の淡水魚を展示しています。

写真-9　滝つぼを見上げる水槽

また、隣接する道の駅には、シンボルタワーとなっている世界最大級のハト時計があり、10 時からハト時計とからくり人形の演奏を聴くことが出来ました。

写真-10　世界最大級のハト時計

(5) ちゃちゃワールド

研修の最後は、遠軽町生田原の「ちゃちゃワールド」を見学しました。ちゃちゃワールドは、世界の木のおもちゃ館や木の玉プール等の遊びの広場、木工小おもちゃ作りが体験できる木工房があり、小さなお子さんには、喜ばれる施設となっています。

写真-11　ちゃちゃワールド

3. おわりに

今回は、オホーツク技術士委員会との共催で開催し、北見市浄水場をメインとした見学先、北見市内の宿泊先、昼食会場等を橘委員長より提案していただきました。また、浄水場では当時の苦労話し交えオホーツク技術士委員会の皆様に説明までしていただき大変お世話になりました。

写真-12　懇親会の様子

また、北見市内のホテルで開催した懇親会には、オホーツク技術士委員会より 10 名と多数参加をしていただき、交流を深めることができました（飯野委員長より 2 次会も大変盛り上がったと聞いています）。

ご参加の皆様、並びにオホーツク技術士委員会の皆さまのご協力により、今回の研修会を無事、楽しく終えることが出来ました。ありがとうございました。

写真-13　橘オホーツク技術士委員会代表

写真-14　飯野事業委員長

写真-15　浄水場での集合写真